

## 校舎配置のメリット・デメリット

青：教室環境関係 赤：運動場関係 緑：近隣関係 黒：敷地利用関係

	メリット	デメリット
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭のイチョウ、エンジュ及び正門側道路の一部の樹木は、残しながら整備することが可能である。</li> <li>・西側擁壁を整備し門扉を設置することにより、西側地域の安全性及び利便性の向上が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校庭のヒマラヤ杉は、工事の支障になる。</li> <li>・校舎及び体育館が、西側道路に面して設置されるため、近隣への音や視線が懸念される。</li> <li>・地下を教室にする場合、採光・通風等に配慮する必要がある。</li> <li>・西側に普通教室を配置する場合、西日対策が必要となる。</li> </ul>
案1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎東側に既存より広い校庭（最大120mトラック）ができる。</li> <li>・北側隣地は、南側の既存校舎がなくなるため、日照や通風などの環境改善が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東向き、西向きに普通教室が配置されるため、日照・採光・通風などの教育環境に配慮する必要がある。</li> <li>・運動場のトラックの大きさは、案2・案3ほど確保できない。</li> <li>・北側隣地は、運動場及び体育館に面するため、学校からの音や視線が懸念される。</li> </ul>
案2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南向きの普通教室が可能であり、日照・採光・通風などの教室環境に優れている。</li> <li>・校舎南側に既存より広い校庭（最大150mトラック）ができる。</li> <li>・北側隣地は、既存校舎より南側に校舎ができるため、現在よりも日照や通風などの点で環境改善が期待できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側隣地は、校舎及び体育館に面するため、学校からの音や視線が懸念される。</li> </ul>
案3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南向きの普通教室が可能であり、日照・採光・通風などの教室環境に優れている。</li> <li>・校舎南側に既存より広い校庭（最大150mトラック）ができる。</li> <li>・北側隣地は、既存校舎より南側に校舎ができるため、現在よりも日照や通風などの点で環境改善が期待できる。</li> <li>・敷地北側は、未利用な部分があり、案1・案2よりも有効活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北側隣地は、校舎に面するため、学校からの音や視線が懸念される。</li> </ul>